

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第28週の発生動向

□ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が15例あり、2021年の累積報告数は2,244例となった。

□ 全数報告の感染症 (28週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	男	肺結核	肺陰影
		高鍋	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
5類	梅毒	日向	30歳代	女	早期顕症梅毒I期	鼠径部リンパ節腫脹

□ 新型インフルエンザ等感染症 (28週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	報告数	年齢群					症状
			20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	6例	1	2	2	1		発熱、咳、全身倦怠感、頭痛、嗅覚・味覚障害、咽頭痛等
	都城	5例	1	2			2	
	小林	2例		1		1		
	県外	2例			1		1	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は412人(定点当たり11.7)で、前週比90%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

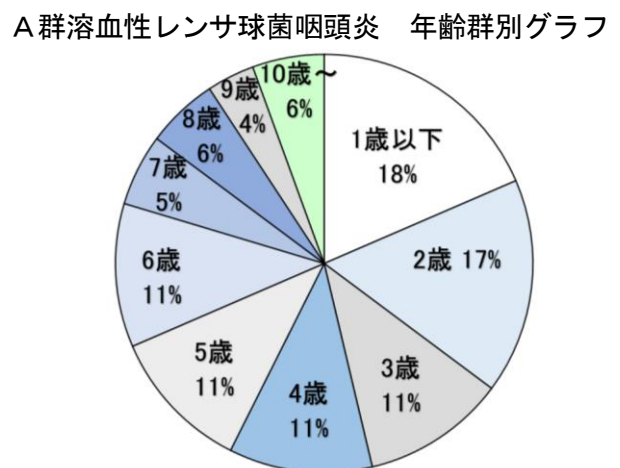
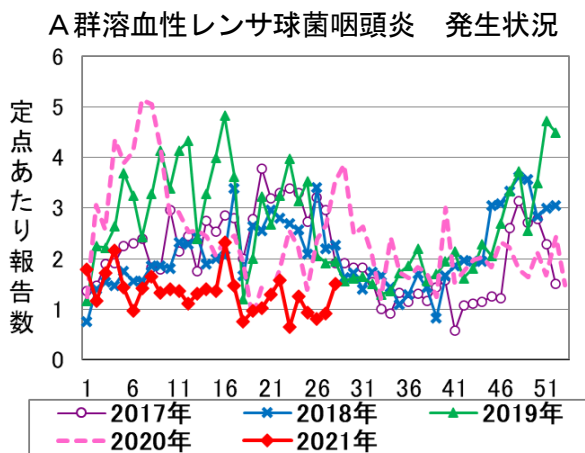
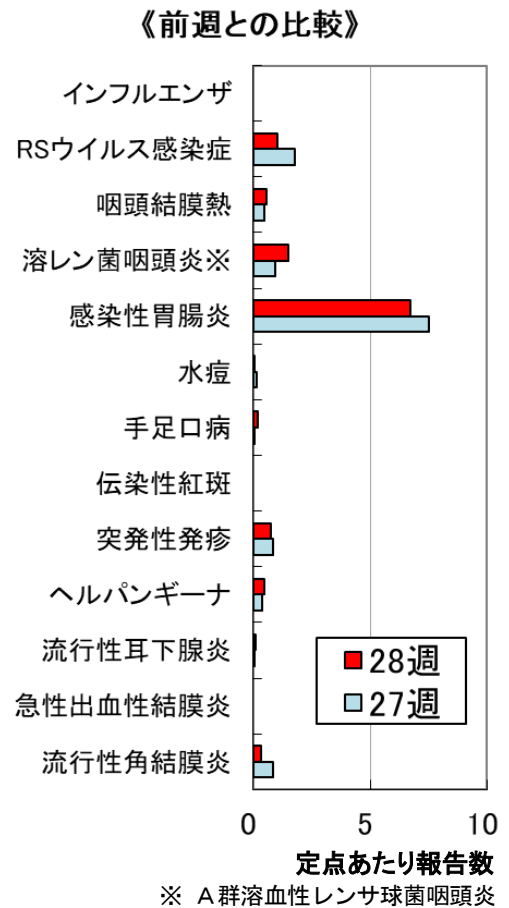
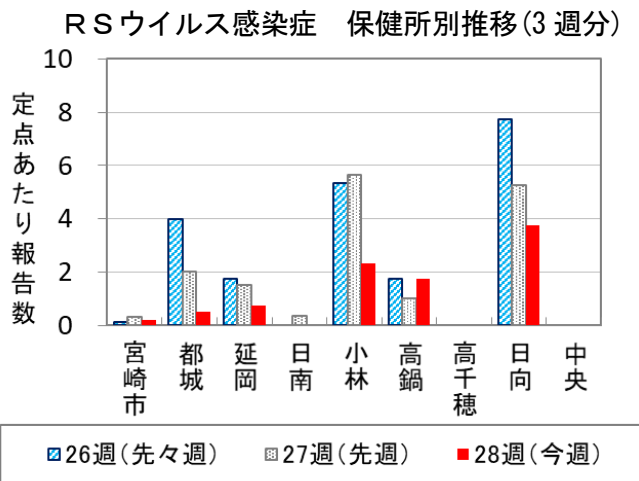
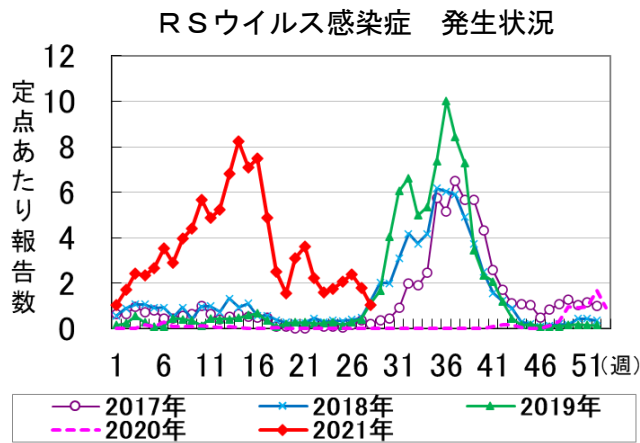
【RSウイルス感染症】

報告数は37人(1.0)で、前週比58%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.68)の約1.5倍であった。日向(3.8)、小林(2.3)、高鍋(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月~2歳が全体の約7割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は54人(1.5)で、前週比164%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約0.6倍であった。日南(5.7)、延岡(4.3)、宮崎市(1.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年7月19日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	40歳代	女	2021.6.24	発熱(38.8℃)胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2021.7.1
EPEC(O9:H28)	60歳代	女	2021.6.28	無症状	便	2021.7.8
EPEC(O9:H27)	0~4歳	男	2021.6.29	胃腸炎(水様性下痢)	便	2021.7.9

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトヘルペスウイルス6	5~9歳	女	2021.04.12	咽頭炎、39.0℃	鼻汁	2021.07.08
エコーウイルス6型	0~4歳	女	2021.04.29	髄膜炎、39.0℃、	便 髄液	2021.07.16

🇯🇵 全国 2021 年第 27 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	257 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	102 例				
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	1 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	2 例	日本紅斑熱	12 例
	マラリア	2 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	37 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30 例	急性脳炎	6 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	10 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	109 例	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	17 例	麻しん	1 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はヘルパンギーナと流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘であった。

RSウイルス感染症の報告数は15,896人(5.0)で前週比122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.31)の約16.5倍であった。三重県(19.3)、和歌山県(13.3)、高知県(11.4)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は9,580人(3.0)で前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.4)の約0.7倍であった。宮崎県(7.5)、愛媛県(6.8)、香川県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	64	37	2	3	3		7	7		15	
	定点当り	1.78	1.03	0.20	0.50	0.75	0.00	2.33	1.75	0.00	3.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	20	6	7	3	2		1			1
	定点当り	0.47	0.56	0.60	1.17	0.75	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	33	54	11	4	17	17	2	1		2	
	定点当り	0.92	1.50	1.10	0.67	4.25	5.67	0.67	0.25	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	270	242	59	77	3	32	13	26	1	20	11
	定点当り	7.50	6.72	5.90	12.83	0.75	10.67	4.33	6.50	1.00	5.00	11.00
水痘	報告数	6	2	1							1	
	定点当り	0.17	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	2	7		2		5					
	定点当り	0.06	0.19	0.00	0.33	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	27	8	6	2		4	5	1	1	
	定点当り	0.83	0.75	0.80	1.00	0.50	0.00	1.33	1.25	1.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	17		5	1	5				6	
	定点当り	0.39	0.47	0.00	0.83	0.25	1.67	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	4		1	1	2					
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.17	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	2	2								
	定点当り	0.83	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～28週)

2類感染症	結核	70例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例		
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	7例	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	52例(1)
	破傷風	3例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	2244例(15)		

()内は今週届出分、再掲